

2026 年度
高知大学大学院総合人間自然科学研究科
農林海洋科学専攻（修士課程）（第2次）入学試験

＜ 一般選抜 ＞

専 門 科 目

（教育研究分野）水環境工学

問題冊子 . . . 問題（2）問（1）ページ（表紙を除く）
解答冊子 . . . 解答用紙（3）枚（表紙を除く）
下書用紙 . . . （3）枚
配 点 . . . 問題用紙に表示のとおり
試験時間 . . . 9 時 30 分～11 時 00 分（90 分）

注 意 事 項

1. 試験開始の合図まで、この問題冊子を開かないこと。
2. 配布された問題冊子の表紙に、自分が選択する教育研究分野（研究室）が書かれてあるか、確認すること。もし、違っている場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
3. 試験開始後に、問題冊子・解答冊子・下書用紙の枚数を確認し、解答冊子の表紙及び解答用紙各頁の所定欄に受験番号を記入すること。
4. 試験中に、問題冊子・解答冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁、及び下書用紙の不備に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
5. 解答は、それぞれの問題番号が書かれた解答用紙の指定された箇所に記入すること。なお、解答用紙には、必要事項以外は記入しないこと。
6. 解答冊子は綴じたまま記入し、試験終了後も各ページを切り離さないこと。
7. 配布された解答冊子は、持ち帰らないこと。
8. 試験終了後、問題冊子・下書用紙は持ち帰ること。
9. 試験終了後、指示があるまでは退室しないこと。

2026 年度 高知大学大学院総合人間自然科学研究科
農林海洋科学専攻（修士課程）（第2次）入学試験問題 〈一般選抜〉

教育研究分野	水環境工学
--------	-------

（専門科目）

問題 1 人口減少が続く中、地方では既存の集中型の下水道（各家庭や施設からの下水を下水道管によって下水処理場へ集約して集中処理する方式）を維持するよりも、分散型の処理（浄化槽など、各家庭や個別の施設で処理する方式）の方が合理的な場合がある。集中型の下水道と分散型の処理のそれぞれの利点と課題を比較し、地域における下水処理の望ましいあり方について、あなたの考えを 500 から 600 文字で書きなさい。（120 点）

問題 2 日本の下水道は、従来の下水処理だけでなく、資源回収やエネルギー回収の場として新たな役割を担いつつある。下水道が温室効果ガスの排出削減と資源循環にどのように貢献できるか、あなたの考えを 350 から 400 文字で書きなさい。（80 点）

（全 1 ページのうち 1 ページ目）